

# こんぺいとう通信



教室のみなさん、こんにちは (^^)J  
 今年も残すところ1か月を切ってしまいました。  
 毎年12月になると、1年なんてあっという間だなと感じるのですが、今年はコロナウイルスのために特にそのように感じています。早かった…というよりも、十全な1年間を過ごしたという実感が湧きません。どこか中途半端な感じがしてなりません。  
 みなさんはいかがでしょう。

12月と言えば年賀状ですね。この時期、教室のみなさんも思い思いの年賀状を作成されています。拝見していると、文面のデザインにアマビエをあしらった方がチラホラと目に留まります。一日も早く落ち着いた日常が戻ってほしいというみなさんの思いが伝わってくるようです。

年賀状作成では、文面と宛名面の両方を行うわけですが、教室の生徒さんのほとんどは、文面をワードで作成し、宛名面は宛名印刷ソフトをご利用になっています。

文面については、なるべく簡単に済ませてしまおうと思えば、インターネット上から文面のテンプレートをダウンロードして、そのまま印刷してしまうという方法があります。ここで言うテンプレートというのは、プロのデザイナーが作成したハガキのデザインのことです。最初から年賀状の形になった画像ですので、写真を印刷する要領でプリンターに年賀はがきをセットして印刷すれば、それで出来上がりです。テンプレートは郵便局のホームページをはじめ多くのサイトから無料でダウンロードできます。

それだけでは出来合いの年賀状を買ってきたのと同じでつまらないという方は、ワードを使ってもう一手間かけましょう。ワードで用紙をはがきサイズに

設定し、その上にダウンロードしたテンプレートを重ねます。その上でテキストボックスを追加してお好みのメッセージや写真、イラストなどを載せれば自分だけのオリジナル年賀状にすることができます。その際、ワードのページ設定で用紙の余白をすべて0mmにすること、テキストボックスの塗りつぶしと枠線の色を「なし」にするのがポイントです。

もう少し自分の色を出したいということなら、ワードで作成したはがきサイズの用紙に、テンプレートの代わりにダウンロードしたイラストを配置して、テキストボックスや画像、図形を加えて作成しましょう。ワード初級のテキストを学んだみなさんならそう難しくはないですよ。もちろんおしゃべりなセンサーがついていますしね (^^)

宛名面は専用のソフトを使って、サクッと作ってしましましょう。ソフトの住所録に氏名と住所を入れるだけで、郵便番号まできれいにレイアウトしてくれます。入力する際も7桁の郵便番号を入れれば当該の住所が自動的に入ってくれるのでとても簡単です。ソフトはパソコンの中に最初から入っているものを利用してよいのですが、最近のソフトは多機能な分、使い方が複雑で使いにくかったりしますので、教室では「はがき作家」というソフトをお勧めしています。無料版と有料版があり、無料版では若干の機能制限がありますが、宛名印刷するだけならそれでも十分です。

さて年賀状が完成したら、もちろん印刷ですね。はがきの縁に余白がないデザインの場合、プリンタの設定で「フチなし印刷」を選ぶのを忘れなきよう。それでは来年が素晴らしい年になりますように。

